

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	ISO26000を参考に社内倫理マニュアルを制定し、マニュアル内に汚職・贈収賄を禁止することを盛り込み、社員に周知している。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	ISO26000を参考に社内倫理マニュアルを制定し、マニュアル内に公正な競争として自由な競争を妨げる行為を行わないことを盛り込み、社員に周知している。															16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	職務発明管理規程を制定し、自社で保有する知的財産(特許・商標等)の管理をしている。									8.2 8.3	9							
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	特定個人情報取扱規程を制定し、体制を整備している。特定個人情報を取り扱う社員と誓約書を取り交わしている。															16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物問題を主要課題として位置づけ、人権侵害や環境破壊などを引き起こし、武装勢力の資金となっている紛争鉱物を使用しない方針を掲げ、当社製品から紛争鉱物を排除するための取り組みを進めている。															16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引基本契約書にて公正な事業に取り組んでいることを確認し、取り交わしている。					5				8	10	12	13	14	15	16	17	
28	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001(2015版)の認証を取得し、製品含有化学物質管理基準を制定し、製品の安全を保障する仕組みを構築している。				3.9							12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001(2015版)の認証を取得し、品質保証の仕組みを落とし込み事業活動を推進している。										9							
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	プレス工程においてフープ材料からの廃材が少なくなるような設計を行っている。							6				12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	顧客の要求に基づき、社会課題を解決する製品を展開していくために間接的に協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	敷地境界線の騒音測定を定期的に行い基準値超にならないように監視している。水質調査を定期的に行い必要に応じ情報提供を行っている。					4					9	11	12		14	15	17	
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	各事業団体への寄付、地元消防団への活動費寄付を行っている。					4						11			14	15	17	
34	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ	地域企業を有効に活用している。地域人材の雇用、継続的な採用に努めている。									8	9	11	12	13				
35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・社訓を明文化している。経営目標を社員に説明し共有している。									8	9						17	
36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムの中に法令遵守を盛り込み推進している。法規制遵守状況の評価を定期的に行っている。																16	
37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	品質・環境・安全責任者を任命し、体制を整備している。																16	
38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	自社のHPIに企業倫理の取り組みを公開し、ステークホルダーからの通報相談窓口を設置している。																16	17
39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	マネジメントレビュー管理基準を制定し、リスクの拾い出しを行い、定期的リスク評価を実施している。																	16
40	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ISO26000を参考に社内倫理マニュアルを制定し、推進している。自社のHPIに企業倫理の基本方針を公開している。																	16
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	危機管理マニュアルと事業継続計画(BCP)を制定し、あらゆる災害に対して発生時の情報収集手段や、安全確保・安否確認・災害対策組織設置の手順を明確にしている。定期的訓練を実施している。										9		11		13 13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	定期的取締役会を実施し、事業計画の検討、見直しを行っている。									8	9						17	

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)